

柴田翔

- 『希望としてのクレオール』1994年3月 筑摩書房

篠田正浩

- 日本語の語法で撮りたい / 篠田正浩著
- (NHKブックス ; 739)
日本放送出版協会出版年1995.7

ポストコロニアル文学

- インド、アフリカ、カリブ海出身の作家たち
- Kazuo Ishiguro
- Time誌の特集号

日本では

- 陳舜臣
- リービ英雄
- 柳 美里

留学生

- 卒業留学生が文学界新人賞を受賞しました
- イランから神戸大学に留学し自然科学研究科を修了したシリム・ネザマフィさんが、純文学の登竜門とされる第108回文学界新人賞を受賞しました。受賞作「白い紙」は、イラン・イラク戦争下の若者を描いた青春小説といい、5月7日発売の「文学界」6月号に掲載されます。

- 主催する文芸春秋によると、日本語を母語としない書き手の受賞は、2007年に受けた中国人の楊逸 (ヤン・イー) さんに続き2人目で、非漢字圏出身者では初めてです。楊さんは2008年に芥川賞を受賞しています。
- ネザマフィさんは1999年に来日。大阪外大で1年間日本語を学び、神戸大学工学部に進みました。2006年に大学院自然科学研究科博士課程前期課程 (情報知能工学専攻) を修了し、現在は在阪のトップクラスの電機メーカーに勤めています。
- 入社前に書いた小説「サラム」が「2006留学生文学賞」を受賞し、「世界」(岩波書店) の2007年10、11月号に掲載されました。同年9月の神戸大学ホームカミングデーでは、「神戸大学:出会いが与えてくれた可能性」のタイトルで講演 (写真) していただいています。